FOOD MACHINES INTERNATIONAL

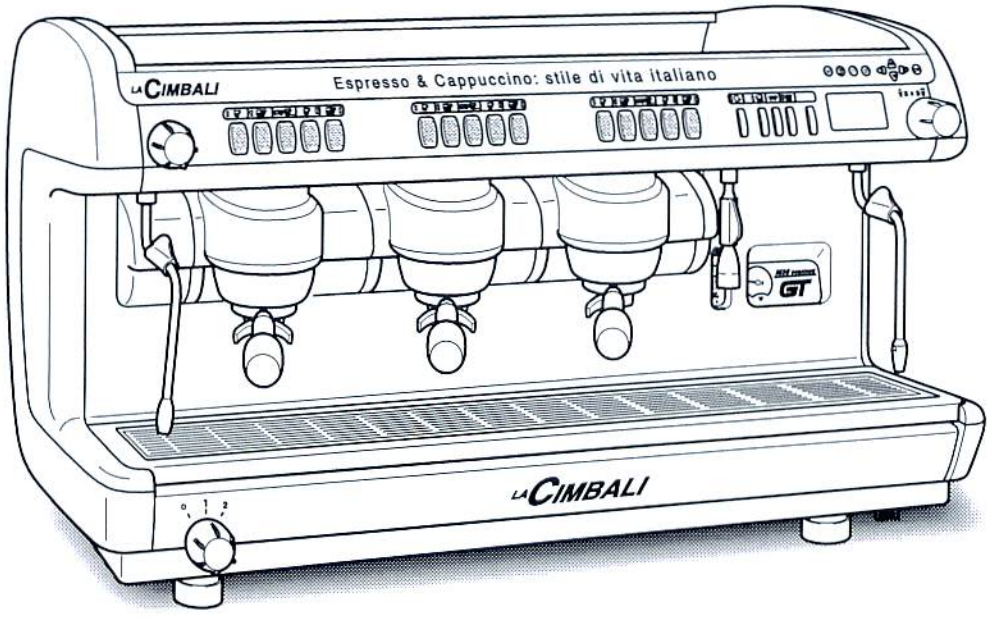
エスプレッソコーヒーマシン「ドサトロン　スーパープレミアム」

LA CIMBALI

お客様用

ー取扱説明書ー

型式：M39GT-DT/2
M39GT-DT/3
（業務用）



M39GT-DT/3

- このたびは、当社のエスプレッソコーヒーマシン「ドサトロン　スーパープレミアム」をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必ずいつも手元においてご使用ください。
- 保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。
必ず「お買上げ日・お買上げ店名」などの記入をお確かめください。

保証書付

目　次

本機をお使いになる前に　1

安全上のご注意 …… 1

本機の使用にあたって
必ず守ってください …… 2・3

各部の名称とはたらき

本　体 …… 4・5

操作スイッチパネル …… 6～8

第1章　使用前の準備　9

本機の操作時には必ず守ってください … 9・10

電源を入れる前に …… 11

電源の入れかた …… 11～14

コーヒーカップの保温 …… 14

第2章　各メニューの抽出のしかた　15

各メニューの抽出のしかた …… 15～18

次の抽出をするときには …… 19

熱湯の出しかた …… 20

蒸気をつかって飲料を温める …… 21～23

第3章　洗浄・清掃のしかた　24

本機の洗浄・清掃時には
必ず守ってください …… 24・25

毎日必ずおこなう洗浄と清掃の一覧 …… 26

営業中に随時おこなってください

蒸気ノズルの洗浄 …… 27

終業時に毎日おこなってください

Ⓐエスプレッソ抽出器の手動洗浄 …… 28～30

Ⓑエスプレッソ抽出器の自動洗浄 …… 31～36

熱湯ノズルの洗浄 …… 37

ドレンプレート、ドレンパンの洗浄 …… 37・38

週に2～3回おこなってください

蒸気ノズル先端の洗浄 …… 38・39

本体外装の清掃 …… 39

第4章　お手入れと点検　40～43

第5章　プログラム設定について　44

タイマー機能と抽出回数の管理 …… 44～58

コーヒー抽出プログラムの設定 …… 59～65

第6章　据付けについて　66

据付け時の注意事項 …… 66・67

据付工事 …… 68～71

据付け …… 72～77

仕　様 …… 78

商品保証書 …… 79

本機をお使いになる前に

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

⚠ **警告**	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ **注意**	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

【図記号の例】

感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の近くや中に絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
接触禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

本機の使用にあたって必ず守ってください

⚠ 警告

●漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF（切）』に作動したときは、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON（入）』にすると、感電や火災の原因になります。

●異常時は電源スイッチを切り、本機専用電源を『OFF（切）』にしてすぐにお買上げ店に連絡すること

異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。

●機械内部の電気装置や配線に触らないこと

やけどや感電の恐れがあります。

●お使いのガス器具がある場合、ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること

本機の電源スイッチを入れたりしますと、引火爆発し、危険です。

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災の原因になります。

●改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。

●移設は専門業者か、お買上げ店に相談すること

据え付け不備があると、水漏れ、感電、火災などの原因になります。

●廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

本機の使用にあたって必ず守ってください

⚠ 注意

●本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

禁止

●可燃性のスプレーを近くで使用したり、近くに可燃物を置かないこと

発火の原因になることがあります。

可燃物禁止

●本体にもたれたり、乗ったりしないこと

やけどや製品転倒によるケガの原因になります。

禁止

●点検するときは、必ず電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にすること

感電したり、ケガの原因になることがあります。

専用電源切

●電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

禁止

●一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にし、電源プラグを使用の場合は、コンセントから抜くこと

発熱、発火の原因になることがあります。

専用電源切

●漏電遮断器は月に１回、動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

動作確認

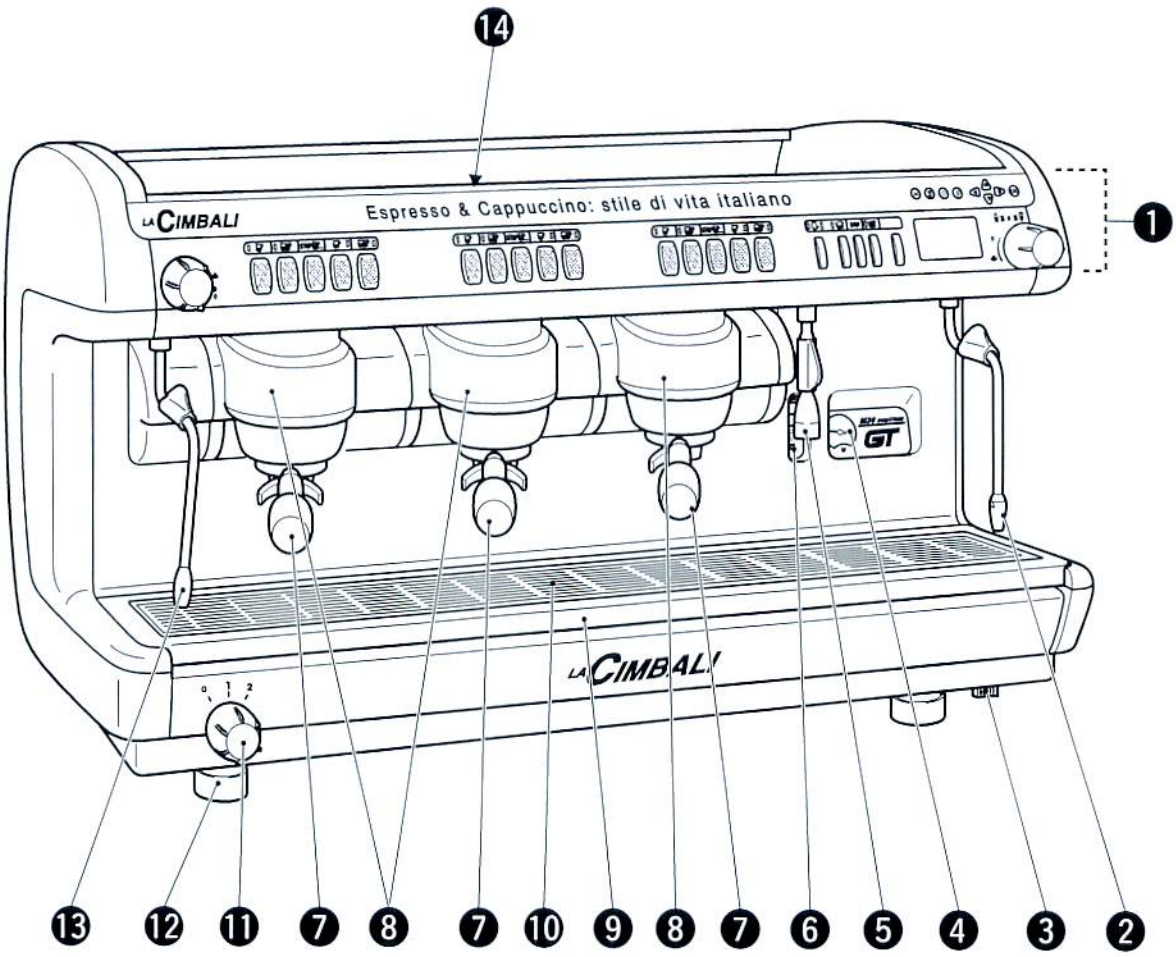
●本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

テープ止め

各部の名称とはたらき

●本機はエスプレッソを抽出するコーヒーマシンです。

本　体



図はM39 GT-DT/3です。

各部の名称とはたらき

❶ 操作スイッチパネル部
各メニューの抽出やプログラム設定をおこないます。（詳しくはP6～8を参照してください。）

❷ 蒸気ノズル（右）
蒸気がここから出ます。

❸ 手動給水レバー
（通常は使用しないでください。）

❹ ポンプ圧力計
エスプレッソ抽出時にポンプ圧を確認します。

❺ 熱湯ノズル
熱湯がここから出ます。

❻ 水位計
ボイラータンク内の水位を表示します。

❼ エスプレッソ抽出容器
コーヒー粉をここにセットします。
エスプレッソがここから出ます。

❽ エスプレッソ抽出器
ここにエスプレッソ抽出容器をセットし、エスプレッソを抽出します。
それぞれのエスプレッソ抽出器にはコーヒーボイラータンクが装備されていて、エスプレッソ抽出器ごとに抽出温度を管理しています。

❾ ドレンパン
廃液を受けます。

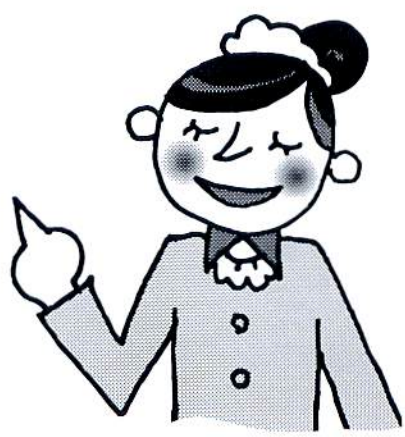
❿ ドレンプレート
各メニューの抽出時にコーヒーカップを置くスペースです。

⓫ 電源スイッチ
本体の電源をON/OFFにするスイッチです。

⓬ アジャスト脚
本体を水平にするために調整します。

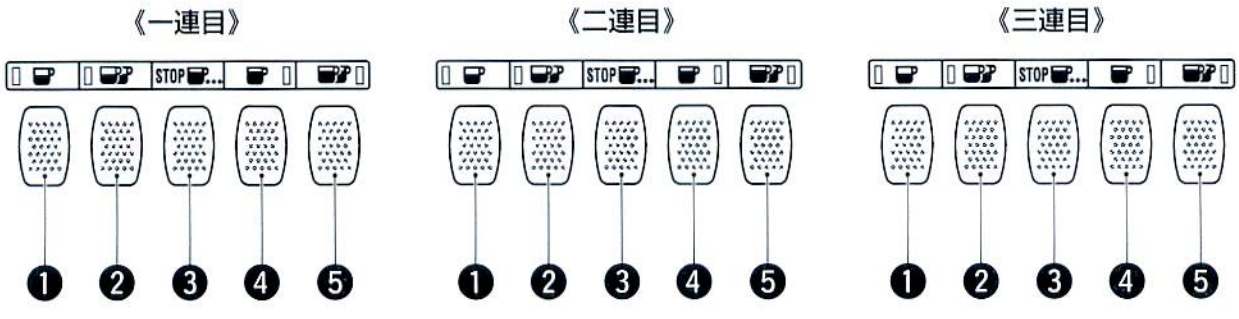
⓭ 蒸気ノズル（左）
蒸気がここから出ます。

⓮ 天板（カップテーブル）
コーヒーカップを置いて保温しておくスペースです。



操作スイッチパネル

メニュースイッチ部



※図はM39 GT−DT/3です。(M39 GT−DT/2は《一連目》、《二連目》のみ)

❶ イタリアンエスプレッソ　1杯取りスイッチ
抽出中にスイッチを押すと途中で抽出が止まります。

❷ イタリアンエスプレッソ　2杯取りスイッチ
抽出中にスイッチを押すと途中で抽出が止まります。

❸ ストップスイッチ
- 各メニューの抽出を途中で止める場合に押します。
- 任意の量のコーヒーを抽出する場合、このスイッチを押すと抽出が始まります。もう一度押すと止まります。

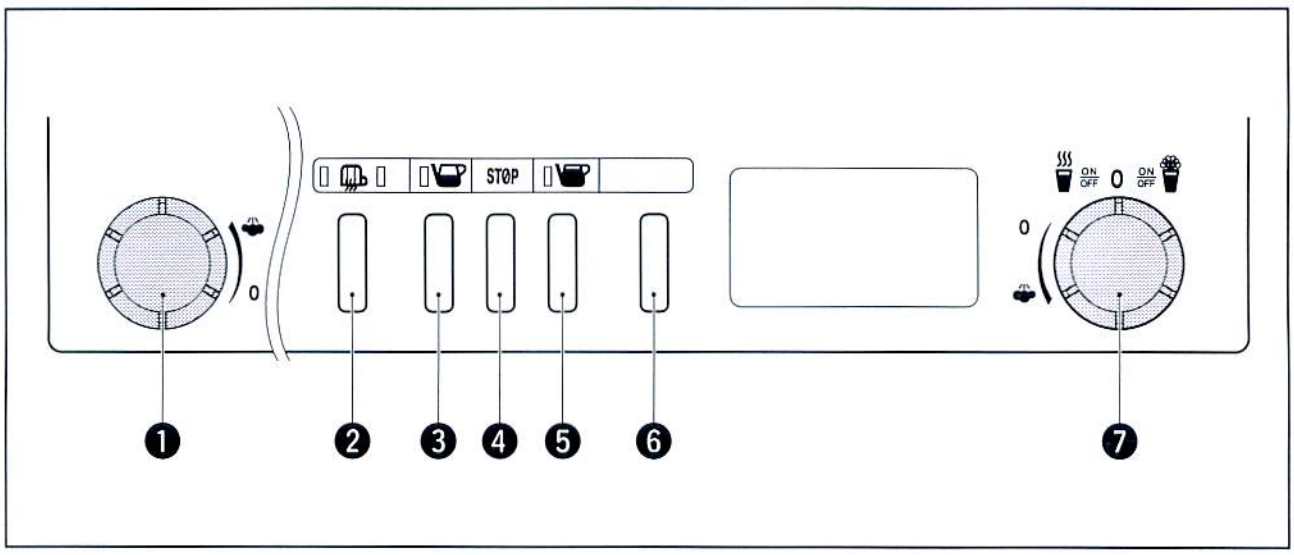
❹ マイルドエスプレッソ　1杯取りスイッチ
抽出中にスイッチを押すと途中で抽出が止まります。

❺ マイルドエスプレッソ　2杯取りスイッチ
抽出中にスイッチを押すと途中で抽出が止まります。

〈一連目〉～〈三連目〉の各メニュースイッチは全て同じ働きをします。ただし、コーヒーの抽出量はそれぞれに設定を変更することが可能です。

各部の名称とはたらき

蒸気栓、熱湯スイッチ部



❶ 蒸気栓つまみ（左）
蒸気ノズル（左）から蒸気を出すときに回します。

❷ カップウォーマースイッチ
本機では使用しません。
（スイッチを押すと、緑色のLEDが点灯しますが、動作はしません。）

❸ 熱湯スイッチ（小）
設定した時間、熱湯が出ます。工場出荷時は5秒間（約225mL）に設定されています。

❹ 熱湯ストップスイッチ
兼　熱湯連続取出しスイッチ

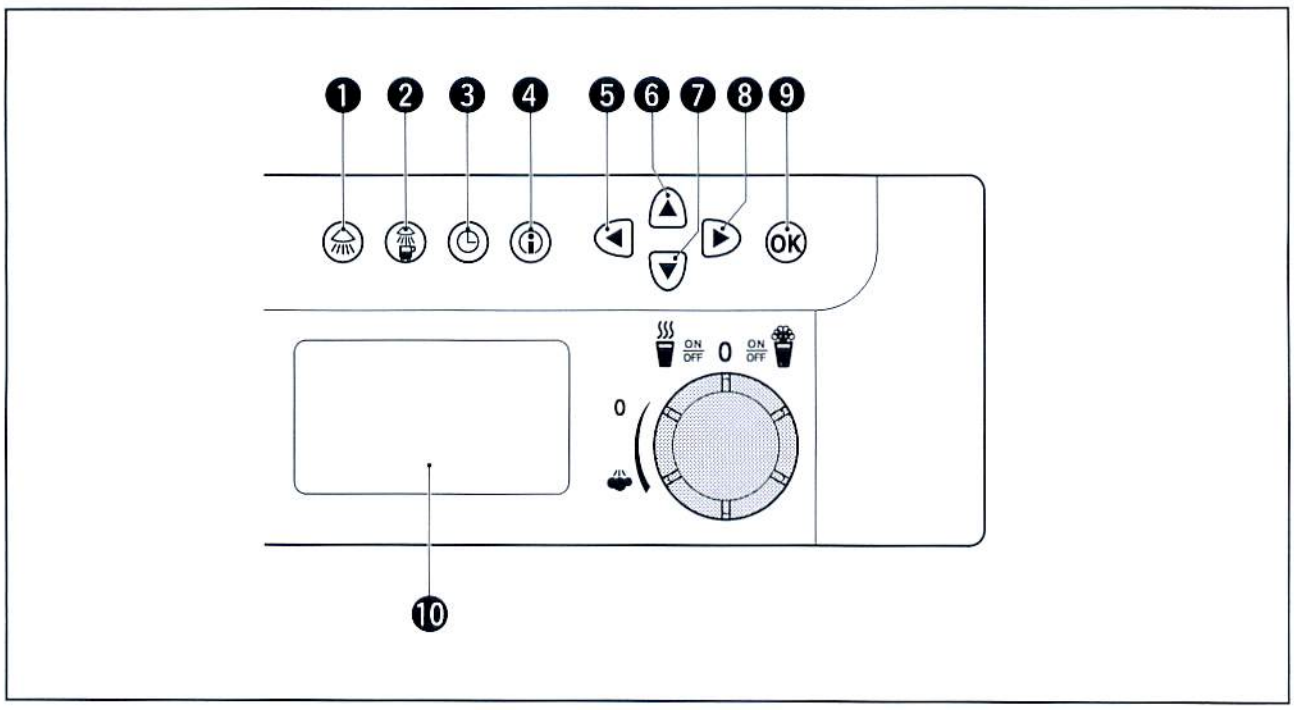
- 熱湯を止める場合に押します。
- 熱湯を連続して出す場合、このスイッチを押すと熱湯が出続けます。もう一度押すと止まります。

❺ 熱湯スイッチ（大）
設定した時間、熱湯が出ます。工場出荷時は10秒間（約450mL）に設定されています。

❻ 本機では、使用しません。

❼ 蒸気栓つまみ（右）
蒸気ノズル（右）から蒸気を出すときに回します。

プログラム操作スイッチ部



❶ ミルクライン自動洗浄スイッチ
本機では使用しません。

❷ コーヒーライン自動洗浄スイッチ
エスプレッソ抽出器およびエスプレッソ抽出容器の洗浄をおこないます。

❸ タイマー設定スイッチ
タイマープログラム機能の設定をするときに使用します。

❹ 情報メニュースイッチ
プログラムディスプレイに抽出杯数を表示させます。

❺ ◀スイッチ（リセットスイッチ）
- プログラムモードを終了する時に使います。
- 各設定を変更している時、キャンセルする場合に使います。

❻ ▲スイッチ（プラススイッチ）
- 各設定をおこなう際、数値を大きくします。
  また、カーソルを上に移動するときに使います。
- 時計を分単位で進めます。

❼ ▼スイッチ（マイナススイッチ）
- 各設定をおこなう際、数値を小さくします。
  また、カーソルを下に移動するときに使います。
- 時計を分単位で戻します。

❽ ▶スイッチ（プログラムスイッチ）
- コーヒー抽出プログラムに入る時に使います。
- 各プログラム設定時、設定項目を選択します。

❾ OKスイッチ
プログラム設定時、数値・設定内容を確定します。

❿ プログラムディスプレイ
現在の機械の状態を表示します。
また、各種のメッセージやプログラムの設定内容を表示します。

1 使用前の準備

この章では本機を使用する前の準備について説明します。使用前には、専用電源と水道栓の確認、ボイラータンクへの給水と昇温の確認などをおこなってください。

本機の操作時には必ず守ってください

⚠警告

●濡れた手で本機専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）など電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。

濡れ手禁止

●蒸気栓つまみを操作するときは、蒸気ノズルがドレンパンに向いているか確認すること

誤って蒸気栓つまみが回った場合、やけどの原因になります。

ノズル確認

●蒸気ノズルを上げて作業した後は、忘れず元の位置（ドレンパンに向ける）に下ろしておくこと

誤って蒸気栓つまみが回った場合、やけどの原因になります。

ノズル下ろす

●顔や手、または他人に蒸気ノズルを向けないこと

やけどの原因になります。

禁止

●コーヒー、蒸気、熱湯を取り出す場合、容器はドレンプレート上に置くこと

容器を手に持ったまま取り出すと、やけどの原因になります。

ドレンプレート

⚠ 注意

●排水管に詰まりがないか始業時に点検をおこなうこと

排水管が詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。

排水点検

●断水のときは、電源スイッチを『OFF（切）』にし、水道栓を閉めること

開けておくと通水時“赤水”が発生し、不衛生な水が機械に給水されます。

断水時閉弁

●断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること

水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。

水入れ替え

●蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと

やけどの原因になることがあります。

接触禁止

●カップテーブルにカップを置くとき、カップの水分を十分に拭き取ること

漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

水分禁止

電源を入れる前に

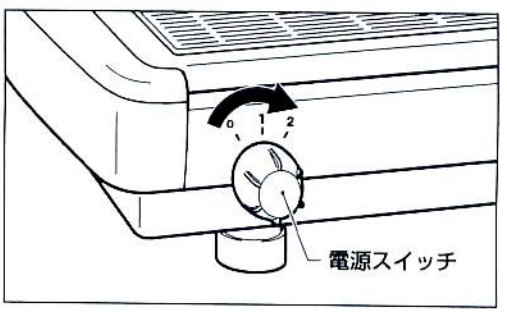
●本機専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）を入れてください。
●水道の元栓を開けてください。

電源の入れかた

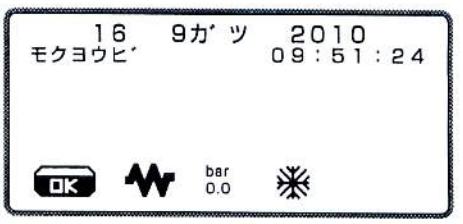
1 電源スイッチをONにします。

❶本体左下部にある『電源スイッチ』を"0"から"1"に回してください。

●本機では“2”を使用しないため“2”まで回りません。



❷プログラムディスプレイに右のような表示があらわれます。
電源をＯＮにすると自動的に初期給水をおこないます。

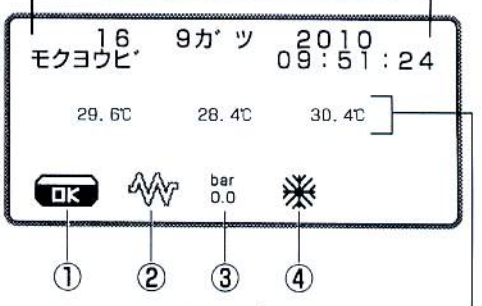


メモ

●本機にはメインボイラータンクに加え、それぞれのエスプレッソ抽出器上部にコーヒーボイラータンクが装備されています。始動時はメインボイラータンクとコーヒーボイラータンクそれぞれに給水して加熱をおこないます。

❸初期給水が終わると、プログラムディスプレイには右のような表示があらわれ、コーヒーボイラータンクへの加熱を始めます。

現在の日付・時刻を示しています。



画面は、M39GT−DT／3の場合

コーヒーボイラータンクの湯温（左より1連目、2連目、3連目）

●画面下に表示されるマークは以下のことを表しています。

マーク		内　容
①		メインボイラータンクの状態を表しています。給水中は下の黒い部分が点滅します。満水になるとOKと表示されます。
②		メインボイラータンクを加熱するヒーターの状態を示します。加熱（通電）中は（黒色）になります。始業時は、ボイラータンクが満水になると加熱を始めます。
③	bar 0.0	メインボイラータンクの圧力値です。1.3になるとコーヒーの抽出が可能です。
④		機械がウォーミングアップ中であることを示します。各ボイラータンクの昇温が完了すると消えます。また、一度昇温した後に、メインボイラーの圧力が0.5bar以下に低下すると表示されます。

メモ

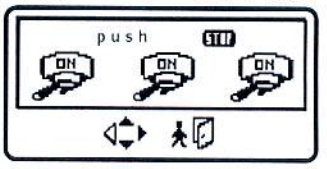
●省電力機能

各エスプレッソ抽出器に装備されているコーヒーボイラータンクのヒーターは、それぞれで「ＯＦＦ」にすることができます。

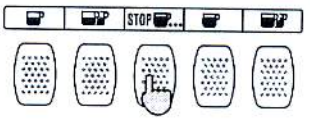
操作方法

①ＯＫスイッチを押します。
右のような表示があらわれます。

画面は、M39GT−DT/3の場合

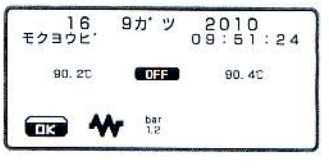


②ヒーターを「ＯＦＦ」にしたいエスプレッソ抽出器の『ストップスイッチ』を押してください。



画面の抽出器の「ON」の文字が「ＯＦＦ」に変わります。

③リセットスイッチ ◀ を押して最初の表示に戻ってください。
ヒーターを「ＯＦＦ」にしたエスプレッソ抽出器では、抽出スイッチを押しても湯(水)は出ません。



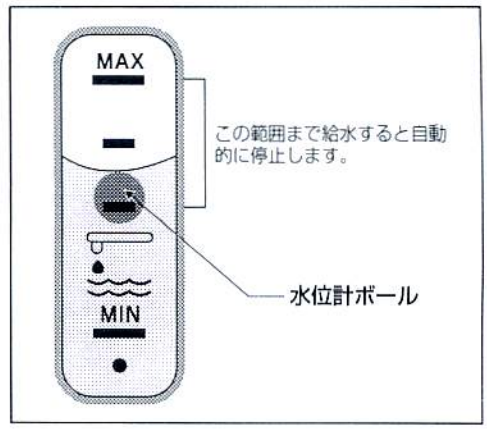
ヒーターを「ＯＮ」にする場合は、同じ操作をおこなってください。

2 自動的にメインボイラータンクへの給水が始まります。

❶メインボイラータンク内の水量が減っている場合は、電源投入時に自動的に給水が始まります。

❷本体右下部にある水位計を確認してください。右図の範囲まで給水すると、自動的に停止します。

❸プログラムディスプレイに OK マークが表示されます。

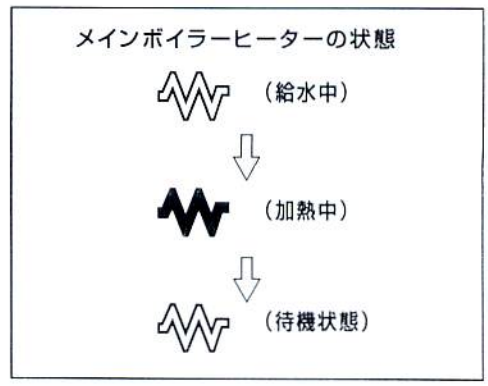


3 給水完了後、加熱が始まります。

❶●給水が完了するとヒーターに通電され、ボイラータンク内の水を沸かします。

●加熱中はプログラムディスプレイに（黒色）のマークが表示されます。また、加熱が始まるとボイラータンク内の圧力が高まり、bar 0.0 の数値が上昇します。

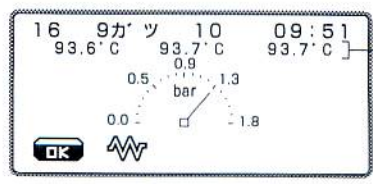
❷（黒色）マークが（白色）に変わり、ボイラータンク内の圧力が1.3barになるとウォーミングアップ完了です。
完了までに約20分間かかります。（時間は目安です。水温その他の条件により異なります。）



✳ 表示が消えるとエスプレッソ抽出可能

メモ

- ウォーミングアップ中に、エスプレッソを抽出するメニュースイッチを押しても動作しません。プログラムディスプレイには右のような表示があらわれます。
- ウォーミングアップ中、機械から『カチ、カチ』という音がしますが、これは本体内の電磁弁の開閉音で異常ではありません。
- ボイラータンク内の圧力をメーターで表示させたい場合はリセットスイッチ ◀ を約3秒間押します。プログラムディスプレイがボイラータンク圧力計の表示に切り替わり、各コーヒーボイラータンク内の湯温も表示されます。元の表示に戻すにはもう一度リセットスイッチ ◀ を約3秒間押してください。



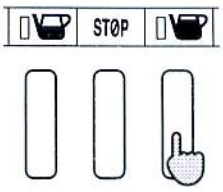
画面は、M39GT-DT/3の場合

コーヒーボイラータンクの湯温（左より1連目、2連目、3連目）

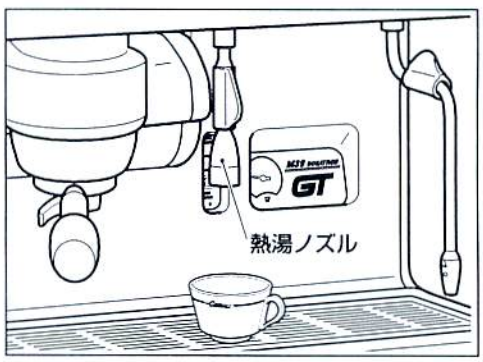
⚠ ボイラータンク内の圧力の適正範囲は1.2～1.3barです。異常に上昇して適正範囲外になるときは、危険ですからすぐに電源を切り、ご使用を中止してお買い上げ店にご連絡ください。

4 熱湯を出して、熱湯ラインに残っていた前日のお湯を排出します。

●排出したお湯の飛び散りを防ぐため、熱湯ノズルの下に空のカップを置き、『熱湯スイッチ（大)』を押してください。



⚠ 熱湯の排出中は、やけどに注意してください。



メモ

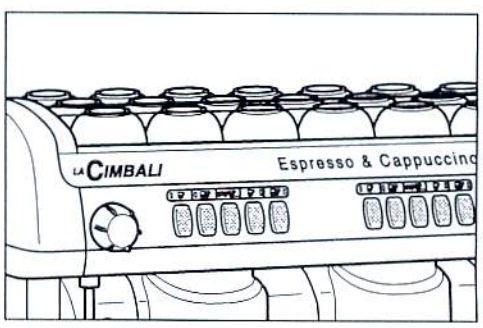
●自動ON・OFFタイマーを設定している場合、自動ONの時刻になると自動的にボイラータンクへの給水と昇温が始まります。（詳しくは第5章「プログラム設定について」を参照してください。）

コーヒーカップの保温

1 天板部のカップテーブルに保温するカップを伏せて並べます。

●ボイラータンクの余熱でカップが温まります。

⚠ カップテーブルにカップを置く前に、カップの水分を十分に拭き取ってください。
漏電、ショート、感電や機械の錆・故障の原因になります。



2 各メニューの抽出のしかた

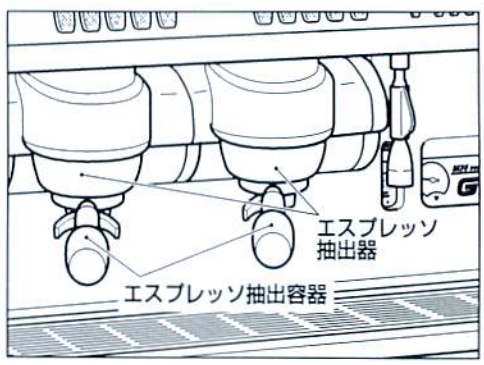
この章では、各メニューの抽出のしかたについて説明します。

各メニューの抽出のしかた

抽出のしかたは、1連目から3連目〔GT-DT/2は2連目まで〕まで、全て同じです。

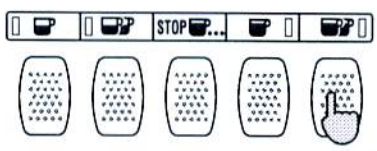
1 エスプレッソ抽出容器を温めます。

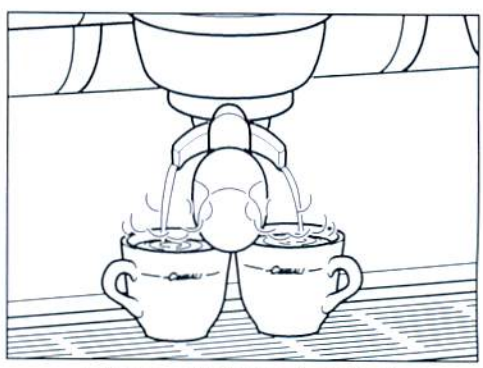
●エスプレッソ抽出容器が冷たいと、抽出したコーヒーがぬるくなります。
エスプレッソ抽出容器は、エスプレッソストレーナーを付けた状態であらかじめ抽出器にセットしておいてください。



エスプレッソ抽出容器が冷たい場合

●エスプレッソストレーナーを付けたエスプレッソ抽出容器を抽出器にコーヒー粉を入れずにセットして『マイルドエスプレッソ（2杯取り）スイッチ』を押し、熱湯を出して温めます。
この時、熱湯の飛びちりを防ぐためエスプレッソ抽出容器の下にカップなどを置いてください。





・2杯取りの抽出容器を温める場合

2 コーヒー粉をセットします。

❶エスプレッソ抽出容器の取手を持ち、時計方向に回して抽出器から外してください。

❷エスプレッソストレーナーの中に抽出杯数に合わせた量のコーヒー粉を入れてください。

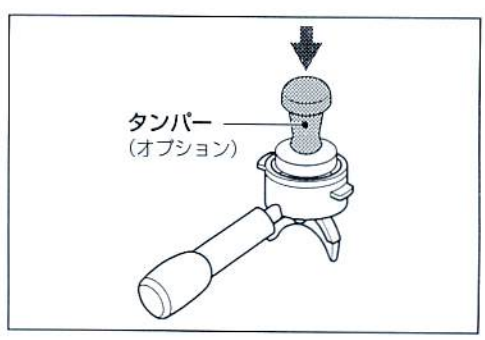
	ストレーナー	コーヒー粉	カップ数
1人分の場合	1人用	7g	1個
2人分の場合	2人用	14g	2個

●当社のエスプレッソ専用ミルをご使用いただきますと、定量のコーヒー粉が簡単に取り出せます。

1人用エスプレッソストレーナー

2人用エスプレッソストレーナー

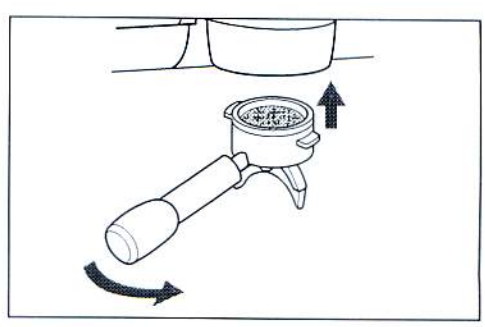
❸タンパー（粉圧縮器）でコーヒー粉を軽く押さえて、平らにしてください。
（タンパーはオプションでご用意しております。）



メモ

この時エスプレッソストレーナーのふちに付いたコーヒー粉を拭き取ってください。コーヒー粉がホルダーと本体との間に入ると適正な圧力がかからない可能性があります。

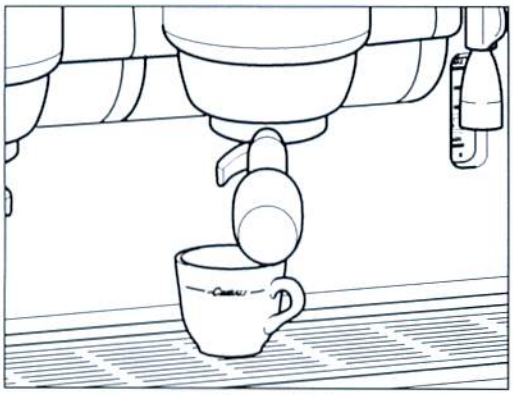
❹エスプレッソ抽出容器を左約40°の方向から抽出器にはめ込み、納まれば右方向に止まるまで回してセットしてください。



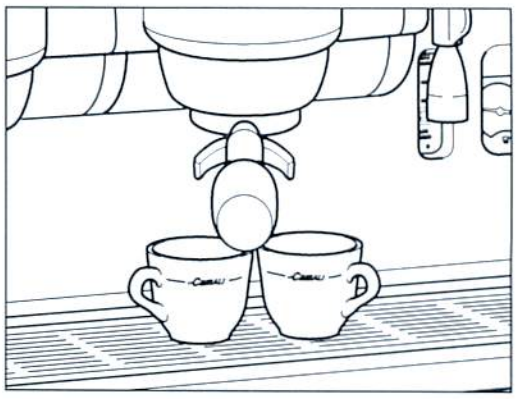
各メニューの抽出のしかた

3 ドレンプレートの上にカップをセットします。

●ドレンプレートの上にカップを置いてください。



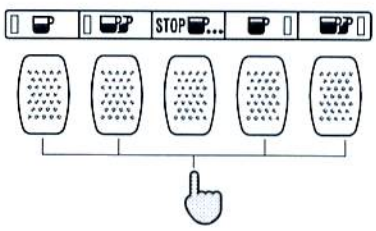
1人用の場合



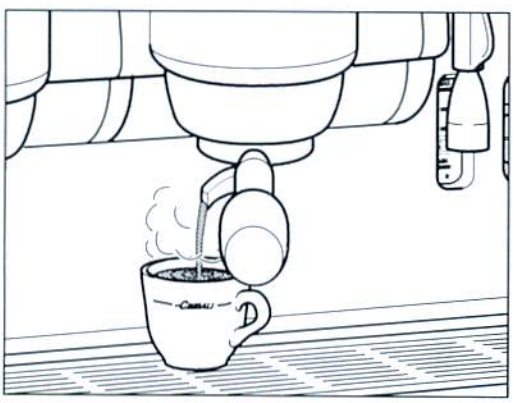
2人用の場合

4 「メニュースイッチ」を押します。

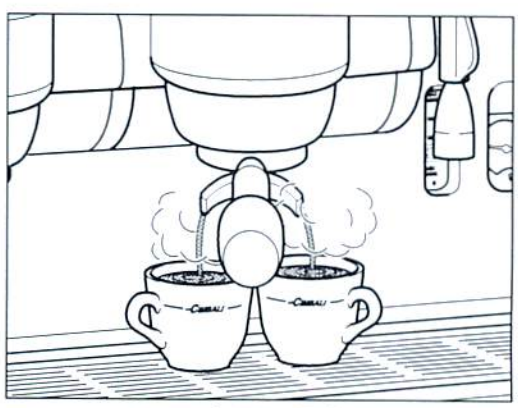
❶抽出するメニューのスイッチを押してください。



❷味合わせの際に設定した一定量のコーヒーが抽出され、自動的に止まります。
途中で抽出を止めたい場合は、もう一度、抽出中のスイッチを押すか、『ストップスイッチ』を押してください。



1人用の場合



2人用の場合

❸抽出後のエスプレッソ抽出容器のコーヒーカスは、すぐに捨てずに抽出容器の保温のために次の使用時までそのままにしておいてください。

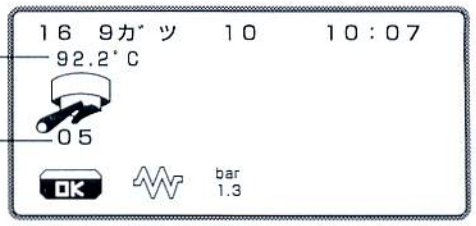
メモ

エスプレッソ抽出中のディスプレイ表示

●コーヒーボイラータンク内の湯温を表示します。

●エスプレッソ抽出時間をカウントします。

（右図は、一連目だけの抽出をおこなったときの表示です。）



任意の量のコーヒーを抽出する場合

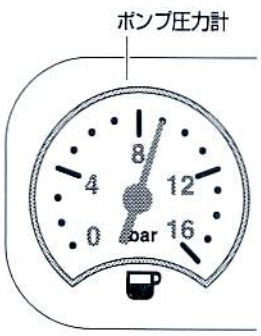
●任意の量のコーヒーを抽出する場合は、『ストップスイッチ』を使います。

●コーヒー粉をセットして『ストップスイッチ』を押すと抽出が始まります。お好みの量のコーヒーが出たら、もう一度『ストップスイッチ』を押して抽出を止めてください。

メモ

エスプレッソ抽出時には、ポンプ圧が約9～10barになります。本体右下部にあるポンプ圧力計を確認してください。

ポンプ圧が9～10bar付近にならない場合は、お買い上げ店にご連絡ください。

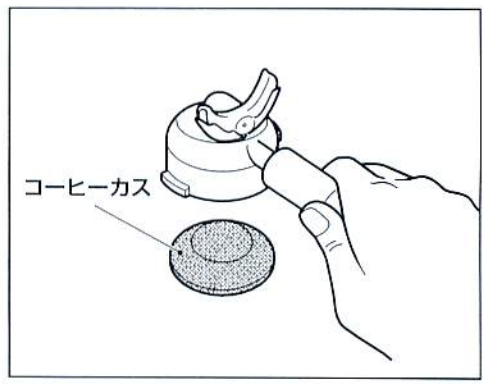


各メニューの抽出のしかた

次の抽出をするときには

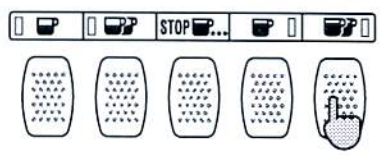
1 次の抽出をするときに、前回のコーヒーカスを捨てます。

●抽出容器を取り外し、コーヒーカスを捨ててください。

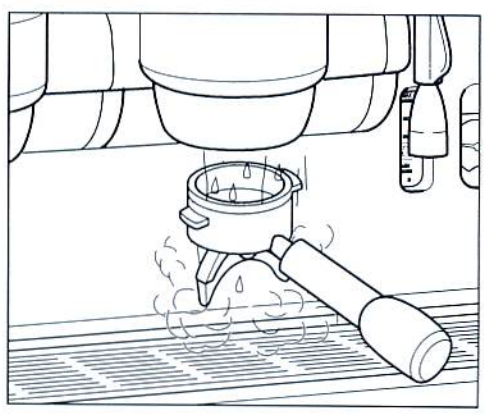


2 エスプレッソ抽出器と抽出容器を洗浄します。

●エスプレッソ抽出容器を外した状態のまま、『マイルドエスプレッソ（2杯取り）スイッチ』を押してください。



一定量の熱湯が出て、抽出器に付着したコーヒーカスが洗い流されます。
この時、エスプレッソ抽出容器を抽出器の下に出してすすぎ洗いをしてください。



⚠ 熱湯が手にかからないようにしてください。
やけどの原因になります。

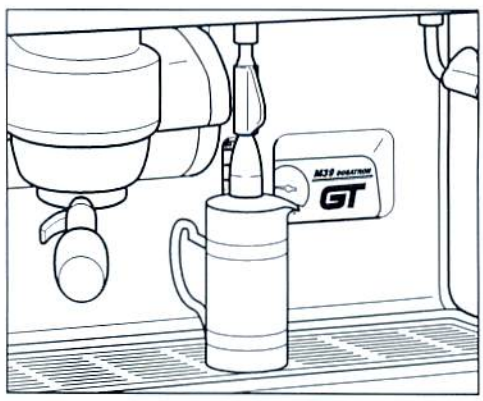
3 次の抽出をおこないます。

●コーヒー粉をセットして次の抽出をおこなってください。

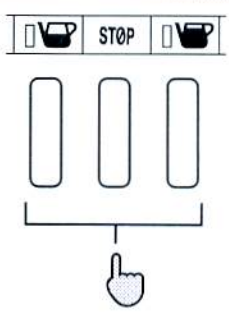
熱湯の出しかた

1 ドレンプレートにカップまたはポットをセットします。

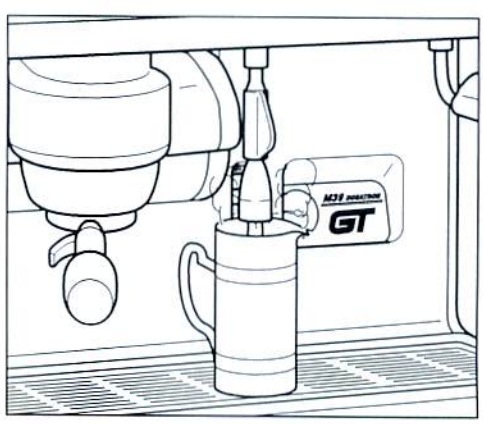
熱湯ノズルの下に熱湯を取り出すカップまたはポットを置いてください。



2 『熱湯スイッチ(小)』または『(大)』を押します。



- 『熱湯スイッチ』を押すと、味合わせの際にプログラム設定した一定の時間、熱湯が出て、自動的に止まります。
- 1秒間に約45mLの熱湯が出ます。
  工場出荷時、『熱湯スイッチ(小)』は5秒(約225mL)、『熱湯スイッチ(大)』は10秒(約450mL)に設定してあります。
- 抽出を途中で止めたい場合は『熱湯ストップスイッチ』を押してください。
- 熱湯を連続で取り出したい場合は、『熱湯ストップスイッチ』を押してください。
  止める場合は、もう一度『熱湯ストップスイッチ』を押してください。



⚠ **熱湯を出す場合は必ずドレンプレート上にカップを置いてください。**
カップを手に持ったまま熱湯を出すとやけどの原因になります。

蒸気をつかって飲料を温める

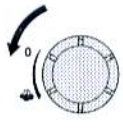
●本機には2本の蒸気ノズルが装備されています。蒸気ノズルのつかいかたは左右どちらも同じです。

⚠
- 蒸気ノズルの先がドレンパンに向いていることを確認してください。
- 蒸気ノズルの先端に人の手などがないか確認してください。
- 蒸気ノズルに装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。
- 蒸気を使ってミルクを温めた後は、もう一度蒸気を出して蒸気ノズル内のミルクを除去してください。そのままにしておくと蒸気ノズル内のミルクが固まり不衛生になります。また、故障の原因になります。

1 蒸気を出します。

❶ 蒸気ノズルの先がドレンパンに向いていることを確認してください。

❷ 初めに蒸気栓つまみを反時計方向に回して蒸気配管内の結露水（熱湯）を抜いてください。



・蒸気を出す（反時計方向）

⚠ この時、熱湯が勢いよく飛び出しますので、ご注意ください。

❸ 蒸気が出るようになったら、いったん蒸気栓つまみを時計方向に回して蒸気を止めてください。

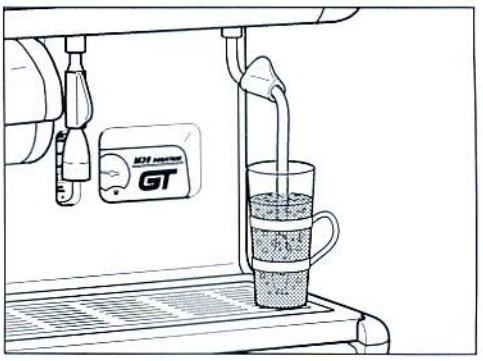
・蒸気を止める（時計方向）

2 飲料を温めます。

❶蒸気ノズルの先を飲料の入ったコップの底まで入れ、ドレンプレートの上に置いてください。

⚠ 容器は耐熱性のあるものを使用してください。

❷蒸気栓つまみを回して蒸気を出してください。素手でかるく触れてみて、お好みの温度になるまで温めてください。



3 蒸気を止めます。

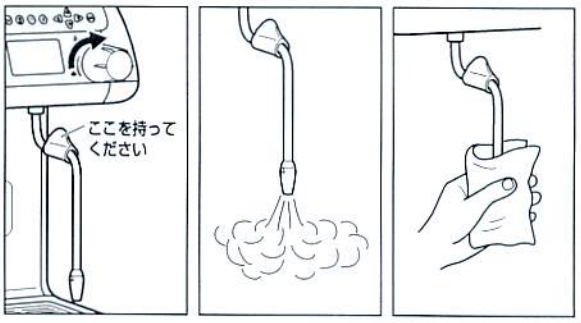
❶蒸気栓つまみを回して蒸気を止めてください。

❷蒸気ノズルの断熱ゴムの部分を持って蒸気ノズルをコップから出してください。

4 蒸気ノズルを清掃します。

❶もう一度蒸気を出してノズル内に付着した飲料を除去してください。

❷蒸気ノズルに付着した飲料を清潔な布で拭き取ってください。



泡立てミルクのつくりかたの例

〈ポイント〉
- ミルクポットは上部がすぼまっているものを使用します。
- ミルクはよく冷えているものを使用します。
- 温度は手のひらで覚えるか温度計を用います。

1. ミルクポットによく冷えたミルクを入れてください。
半杯分多めに入れてください。　1杯→1.5杯
2杯→2.5杯

1.

2. 蒸気を出してください。
蒸気をつかって飲料を温める の手順 1 と同様にしてください。

3. ノズルの先端をミルクの表面より少し(3~5㎜)中に入れ蒸気栓を全開にしてください。
- ●蒸気栓は全開にしないとミルクに空気を取り入れることができず、ミルクが泡立ちません。
- ●蒸気の勢いで水面が少しへこみ、ノズルとミルクの間に隙間ができ、そこから空気が吸い込まれます。(4秒前後／2杯分)

3.

4. 空気を抱き込んだら、ノズルの頭をミルクの中に完全に入れ撹拌してください。
- ●この時含んだ空気を蒸気が細かく分解します。

4.

ノズルの頭が隠れる程度

5. 65~70℃になったら、蒸気栓を閉じてください。
- ●素手でかるく触れ、熱くて触れられないくらいの温度になったら出来上がりです。

6. この段階ではミルク内に大きな泡を含んでいますので、ミルクポットを回し、テーブルなどに底をたたきつけて、大きな泡を消してください。

7. 泡立ちミルクをつくった後は、蒸気をつかって飲料を温める の手順 4 と同様に蒸気ノズルを清掃してください。

5.

3 洗浄・清掃のしかた

本機の洗浄・清掃時には必ず守ってください

⚠警告

●自動洗浄以外の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを『OFF（切）』にして、本機専用電源も切ること

感電したりやけどの原因になることがあります。

●電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

●電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

●本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

●濡れた手で電源プラグなど（電源プラグ使用の場合）電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。

本機の洗浄・清掃時には必ず守ってください

⚠ 注意

●一日の営業終了後は必ず接液部分および部品を洗浄すること

洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。

洗浄

●エスプレッソ抽出器の洗浄には付属の酸素系漂白剤「テルキッチン」を使用すること

他の洗浄剤を使用すると、エスプレッソ抽出器、抽出容器のよごれが落ちないことがあります。

専用洗浄剤

●エスプレッソ抽出器の洗浄で、酵素系漂白剤を使った後は必ずリンス（すすぎ）すること

リンスをおこなわないと洗剤成分が残り、健康障害の原因になることがあります。

リンス

●付属の酸素系漂白剤は、口に入れたり、飲み込んだりしないこと

健康障害の原因になります。

禁止

●付属の酸素系漂白剤は、お子様の手の届かない所に保管すること

誤って口に入れたり、飲み込まれますと、健康障害の原因になります。

洗浄剤保管

●蒸気を使用した後は、必ず蒸気ノズルを洗浄すること

洗浄しないと、雑菌が繁殖して健康障害の原因になることがあります。また、ノズル内に残ったミルク成分が固着して故障の原因になります。

洗浄

●付属の専用洗浄剤を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること

素手で取り扱うと、手荒れの原因になることがあります。

手袋着用

毎日必ずおこなう洗浄と清掃の一覧

本機は、毎日必ず以下の洗浄と清掃をおこなう必要があります。
洗浄と清掃をしないと、機械の故障や抽出されるコーヒーの品質が一定しない原因になります。また、機械内部に残ったコーヒーが腐敗し雑菌が繁殖して、健康障害の原因になることがあります。

●営業中に随時 **おこなってください**	● 蒸気ノズルの洗浄 (P27参照)
●終業時に毎日 **おこなってください**	● エスプレッソ抽出器の洗浄 (P28～36参照) エスプレッソ抽出器の洗浄には、手動でおこなう**手動洗浄**と、タイマー機能を使って洗浄時刻を設定する**自動洗浄**があります。いずれかの方法で必ず洗浄をおこなってください。 Ⓐ 手動洗浄 (P28～30参照) Ⓑ 自動洗浄 (P31～36参照) (タイマー機能で「センジョウ1～3」を設定している場合、洗浄時刻になると、アラーム音とディスプレイ表示でお知らせします。このとき、1時間以内に洗浄をおこなわないと、洗浄タイムアウトと表示され、各メニューの抽出ができなくなります。 タイマー機能については、第5章「プログラム設定について」の「洗浄時刻の設定」を参照してください。) ● 熱湯ノズルの洗浄 (P37参照) ● ドレンプレート、ドレンパンの洗浄 (P37･38参照)

●週に2～3回 **おこなってください**	● 蒸気ノズル先端の洗浄 (P38･39参照) ● 本体外装の清掃 (P39参照)

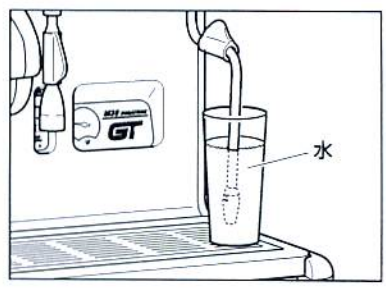
営業中に随時おこなってください

蒸気ノズルの洗浄

●ミルク等の飲料を蒸気ノズルを使用して温めたときは、使用したノズルを洗浄してください。

1 蒸気ノズルの洗浄の準備をします。

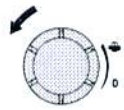
●蒸気ノズルの先を約200mLの水を入れた容器の底まで入れて、ドレンプレートの上に置いてください。



⚠ 容器は耐熱性のあるものを使用してください。

2 蒸気ノズルの洗浄をおこないます。

❶蒸気栓つまみを反時計方向に回すと、蒸気が出て、ノズル先端に詰まったミルクや付着液を洗浄します。

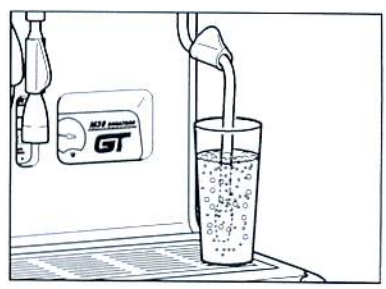


●蒸気ノズル（左）

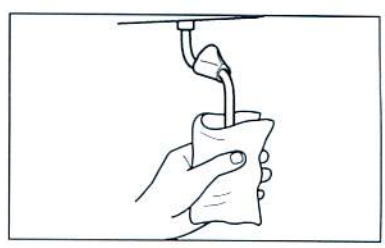
●蒸気ノズル（右）

❷蒸気が出始めて10秒程度たったら時計方向に回して蒸気を止めてください。

❸水を入れた容器からノズルを取り出し、もう一度蒸気を出して、ノズル内の水分を除去してください。



❹蒸気ノズルを清潔な布などで拭いてください。



⚠ 蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと。
やけどの原因になることがあります。

終業時に毎日おこなってください

ここでは、終業時に必ずおこなう洗浄について説明します。終業時の洗浄には、『エスプレッソ抽出器の洗浄』、『熱湯ノズルの洗浄』、『ドレンプレート、ドレンパンの洗浄』があります。
『エスプレッソ抽出器の洗浄』には、Ⓐ手動洗浄（P28～30参照）と Ⓑ自動洗浄（P31～36参照）があります。どちらかの方法を選んで使用したエスプレッソ抽出器の洗浄をおこなってください。

Ⓐ エスプレッソ抽出器の手動洗浄

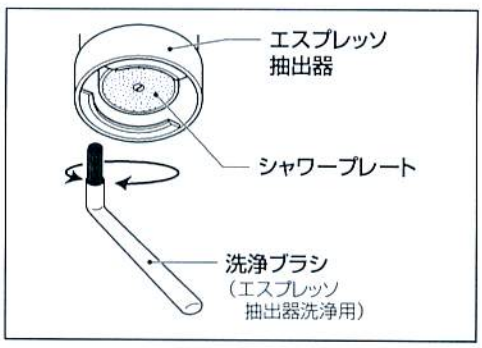
1 エスプレッソ抽出容器を本体から外します。

●このとき、エスプレッソ抽出容器にコーヒーカスが残っていれば捨ててください。

2 シャワープレートを予備洗浄します。

❶付属の洗浄ブラシを使ってシャワープレート周辺に付着しているコーヒーカスを取り除いてください。

⚠ 熱湯を出しながら、洗浄ブラシを使って洗浄をしないでください。やけどの原因になります。

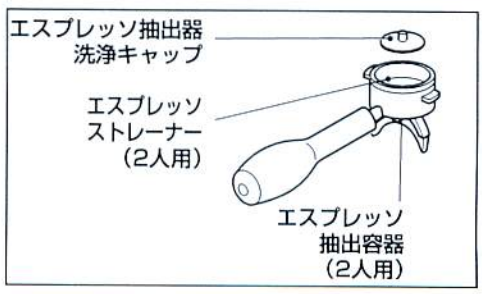


❷『ストップスイッチ』を押して熱湯を出し、シャワープレート部をすすぎ洗いしてください。止めるときはもう一度『ストップスイッチ』を押してください。

3 エスプレッソ抽出器内部を洗浄する準備をします。

❶エスプレッソ抽出容器（2人用）に2人用のエスプレッソストレーナーをセットしてください。

❷❶に、付属のエスプレッソ抽出器洗浄キャップをセットしてください。



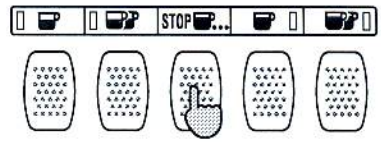
❸酸素系漂白剤「テルキッチン」、約4g（お手持ちのティースプーン山盛り1杯）を洗浄キャップの上に入れてください。

終業時に毎日おこなってください

4 エスプレッソ抽出器内部を洗浄します。

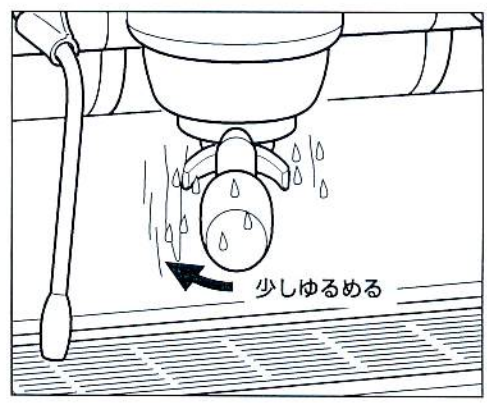
❶酸素系漂白剤を入れたエスプレッソ抽出容器をエスプレッソ抽出器にセットしてください。

❷『ストップスイッチ』を押して熱湯を出してください。



❸約5秒たったら、再度同じスイッチを押して熱湯を止めてください。
抽出された熱湯がエスプレッソ抽出器内部に逆流して、酸素系漂白剤でコーヒーカスの詰まりやアクを取り除きます。

❹エスプレッソ抽出器内に残った酸素系漂白剤の成分を洗い流すために『ストップスイッチ』を押してすすぎ洗いをしてください。止めるときはもう一度『ストップスイッチ』を押してください。すすぎ洗いは、洗剤成分が完全になくなるまで5～6回繰り返し熱湯を出しておこなってください。



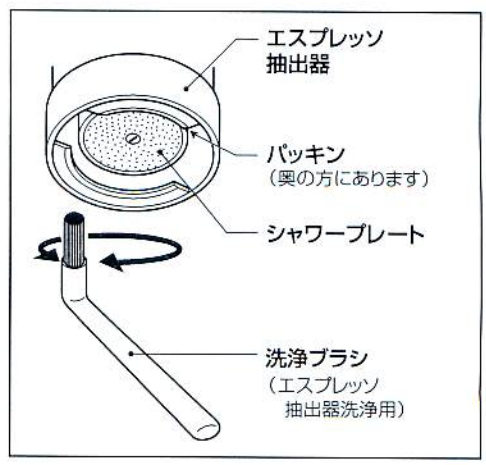
❺その後、エスプレッソ抽出容器を少しゆるめて、同様に『ストップスイッチ』を押して十分すすぎ洗いをしてください。エスプレッソ抽出容器を少しゆるめることで、パッキンについたコーヒーカスを洗い流すことができます。

⚠ 酸素系漂白剤を使用して洗浄をおこなった後は十分にすすぎ洗いをしてください。
漂白剤の成分が残っていると健康障害の原因になることがあります。

5 エスプレッソ抽出器内のシャワープレート部を洗浄します。

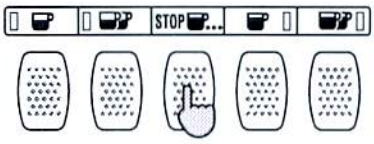
❶エスプレッソ抽出容器を本体から外してください。

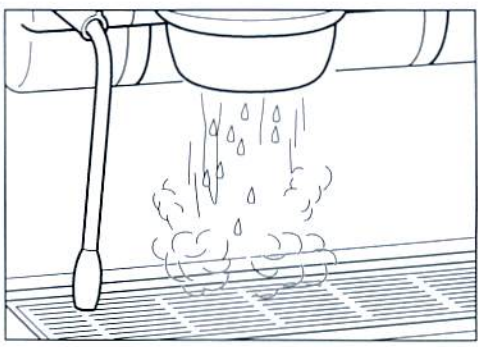
❷エスプレッソ抽出器のシャワープレート、パッキンおよび周辺を、付属の洗浄ブラシを使って洗ってください。



⚠ 熱湯を出しながら、洗浄ブラシを使って洗浄をしないでください。やけどの原因になります。

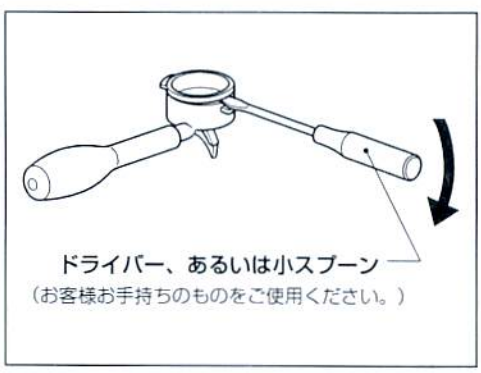
❸『ストップスイッチ』を押して熱湯を出し、すすぎ洗いをしてください。止めるときはもう一度『ストップスイッチ』を押してください。





6 エスプレッソ抽出容器と各部品を洗浄します。

❶エスプレッソ抽出容器からエスプレッソ抽出器洗浄キャップ、エスプレッソストレーナーを外してください。
（エスプレッソストレーナーが固くて外れにくい場合は、右図のようにドライバーなどを使って外してください。）



❷エスプレッソ抽出容器、エスプレッソストレーナー、エスプレッソ抽出器洗浄キャップをお手持ちの食器用中性洗剤を入れたぬるま湯でていねいに洗ってください。

❸その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

❹乾いた清潔な布で水分を拭き取ってください。

❺エスプレッソ抽出容器をエスプレッソストレーナーを付けた状態で、保温のためエスプレッソ抽出器にセットしておいてください。

Ⓑ エスプレッソ抽出器の自動洗浄

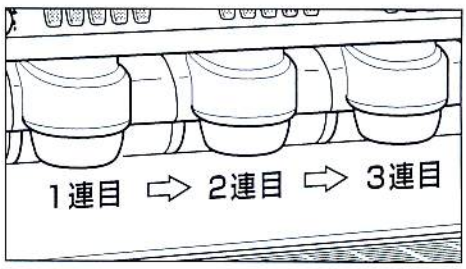
●タイマー機能で「センジョウ1～3」を設定してる場合、洗浄時刻になると、ディスプレイ表示とアラーム音でお知らせしますので、エスプレッソ抽出器の自動洗浄をおこなってください。
洗浄はすべてのエスプレッソ抽出器を同時におこなうか、1連ごとにおこなうかを選ぶことができます。1連ごとにおこなう場合、洗浄中以外のエスプレッソ抽出器を使ってメニューの抽出をすることができます。
「センジョウ1～3」については、P52 洗浄時刻の設定 を参照してください。

1 自動洗浄の準備をします。

❶洗浄時刻になるとプログラムディスプレイに右のような表示があらわれます。

❷洗浄をおこなうエスプレッソ抽出器より、エスプレッソ抽出容器を取り外してください。

❸洗浄をおこなうエスプレッソ抽出容器にコーヒーカスが入っている場合は捨ててください。



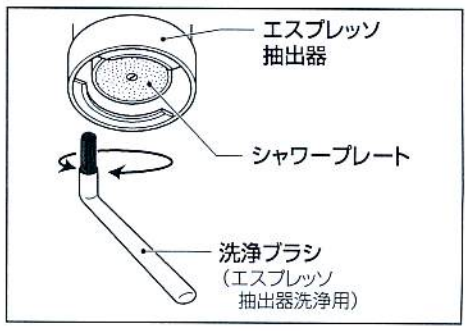
〔図はGT-DT/3〕

メモ

- 1連ごとにエスプレッソ抽出器を洗浄する場合は、洗浄は左から順におこなわれます(右図参照)。

2 シャワープレートを予備洗浄します。

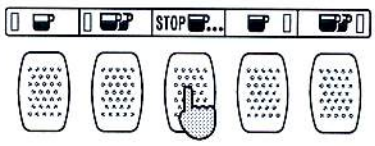
❶付属の洗浄ブラシを使ってシャワープレート周辺に付着しているコーヒーカスを取り除いてください。

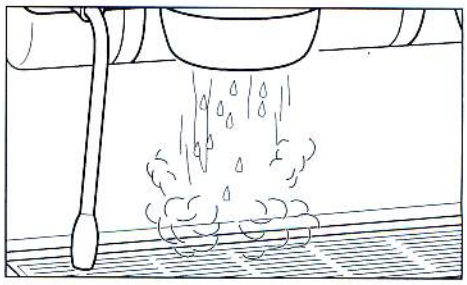


⚠ 熱湯を出しながら、洗浄ブラシを使って洗浄をしないでください。やけどの原因になります。

❷『ストップスイッチ』を押して熱湯を出し、シャワープレート部をすすぎ洗いしてください。

止めるときはもう一度『ストップスイッチ』を押してください。





3 洗浄の方法を選択します。

❶すべてのエスプレッソ抽出器を同時に洗浄するか、１連ごとに洗浄するかを選びます。
『コーヒーライン自動洗浄スイッチ』を約2秒間押してください。右のような表示が表れます。『プラススイッチ▲』または『マイナススイッチ▼』を押すと、すべてのエスプレッソ抽出器を同時に洗浄するか（右図）、１連ごとに洗浄するか（下図）を決定する画面が交互に表示されます。ご希望の洗浄方法の画面を表示させて、『OKスイッチ OK』を押してください。

同時に洗浄する場合

１連ごとに洗浄する場合（画面表示がアニメーションで変わります）

❷選択した洗浄方法によって、右のような表示があらわれます。
同時洗浄の場合はすべてのエスプレッソ抽出器に、１連ごとに洗浄をおこなう場合は洗浄するエスプレッソ抽出器に、自動洗浄の準備をします。

同時に洗浄する場合

1連目の洗浄をあらわしています

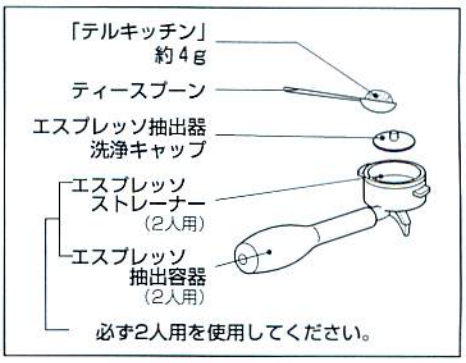
１連ごとに洗浄する場合

4 自動洗浄をおこないます。

❶エスプレッソ抽出容器2人用（エスプレッソストレーナーをセットしたまま）に、エスプレッソ抽出器洗浄キャップをセットしてください。

❷酸素系漂白剤「テルキッチン」約4g（お手持ちのティースプーン山盛り１杯）を洗浄キャップの上に入れてください。

❸エスプレッソ抽出容器をエスプレッソ抽出器に取り付けてください。



❹『コーヒーライン自動洗浄スイッチ』を押すと、自動洗浄が始まります。プログラムディスプレイには右のような表示があらわれます。洗浄には約3分30秒かかります。

「1連目」を表しています。

メモ

- 洗浄はボイラー圧力が設定圧力（標準は1.3bar）に到達していないと始まりません。ボイラー圧力が低下している場合は、ボイラー圧力が回復すると自動的に始まります。

5 すすぎ洗いをおこないます。

❶洗浄が終了すると、右のような表示があらわれます。

すべてのエスプレッソ抽出器を同時に洗浄した場合

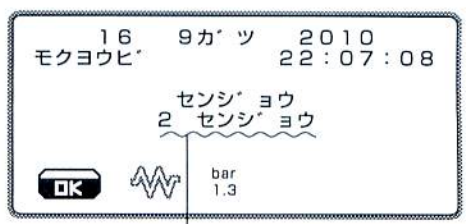
❷エスプレッソ抽出容器を外し、洗浄キャップを取り外してください。

❸再度エスプレッソ抽出容器を取り付けてください。

1連ごとに洗浄をおこない、1連目が終了した場合

❹『コーヒーライン自動洗浄スイッチ』を押すと、すすぎ洗いが始まります。
プログラムディスプレイには右のような表示があらわれます。
すすぎ洗いには約1分30秒かかります。

❺1連ごとの洗浄を選択した場合のみ、すすぎ洗いが完了すると、右のような表示があらわれます。
同様の手順で2連目以降の自動洗浄をおこなってください。



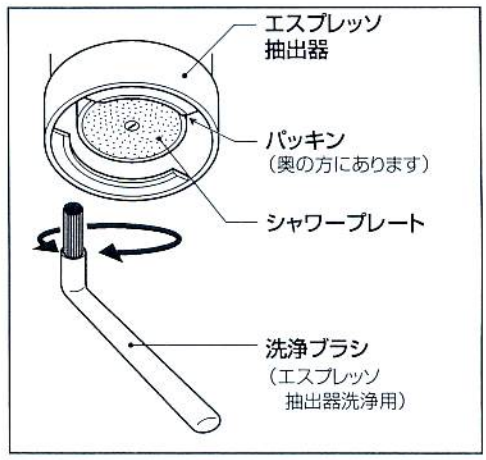
「2連目の洗浄」を表しています。

メモ

- 営業中、1連目のみを使用してコーヒー抽出をおこない2連目以降は使用しなかった場合、2連目以降は洗剤を使用せずに、お湯だけで洗浄をおこなってください。

6 エスプレッソ抽出器内のシャワープレート部を洗浄します。

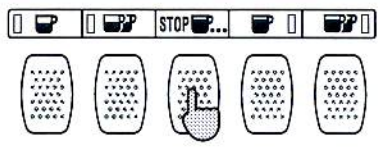
❶エスプレッソ抽出容器を本体から外してください。

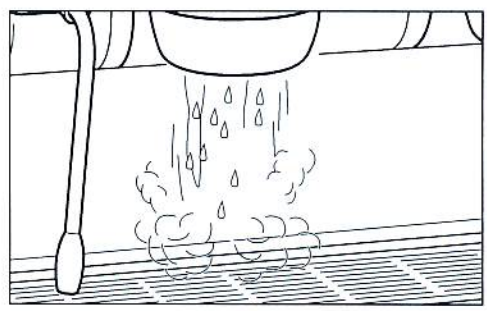


❷エスプレッソ抽出器のシャワープレート、パッキンおよび周辺を、付属の洗浄ブラシを使って洗ってください。

> ⚠ **熱湯を出しながら、洗浄ブラシを使って洗浄をしないでください。やけどの原因になります。**

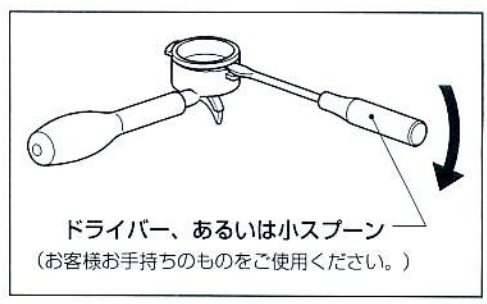
❸『ストップスイッチ』を押して熱湯を出し、すすぎ洗いをしてください。止めるときはもう一度『ストップスイッチ』を押してください。





7 エスプレッソ抽出容器と各部品を洗浄します。

❶エスプレッソ抽出容器からエスプレッソ抽出器洗浄キャップ、エスプレッソストレーナーを外してください。
（エスプレッソストレーナーが固くて外れにくい場合は、右図のようにドライバーなどを使って外してください。）



❷エスプレッソ抽出容器、エスプレッソストレーナー、エスプレッソ抽出器洗浄キャップをお手持ちの食器用中性洗剤を入れたぬるま湯でていねいに洗ってください。

❸その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

❹乾いた清潔な布で水分を拭き取ってください。

❺エスプレッソ抽出容器をエスプレッソストレーナーを付けた状態で、保温のためエスプレッソ抽出器にセットしておいてください。

終業時に毎日おこなってください

エスプレッソ抽出器自動洗浄時の注意事項

●酸素系漂白剤をセットした後は、必ずすみやかにエスプレッソ抽出器自動洗浄をおこなってください。洗浄をおこなわないと、次のコーヒー抽出時に洗浄剤が混じってしまいますのでとくにご注意ください。

●自動洗浄中に停電が起きたり、洗浄中と気づかずに電源を切ってしまったなどの理由で電源が停止した場合、洗浄は正しく終了しません。

途中で電源が切れた場合、その状況によってプログラムディスプレイに表示される内容が異なります。表示内容に従って、改めて酸素系漂白剤をセットして洗浄をやり直してください。

- タイマー機能で「センジョウ1～3」を設定しており、洗浄を促すメッセージの表示後、すべてのエスプレッソ抽出器の同時洗浄を実施中に電源が切れた場合。
  → 再度電源を入れた後、約30秒後に自動洗浄を促すメッセージが表示されます。すべての抽出器に改めて酸素系漂白剤をセットして洗浄をやり直してください。

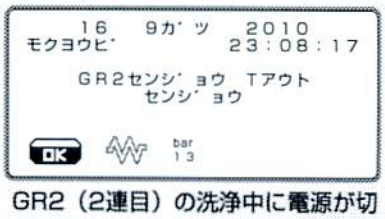
- タイマー機能で「センジョウ1～3」を設定しており、洗浄を促すメッセージの表示後、1連ごとのエスプレッソ抽出器の洗浄実施中に電源が切れた場合。
  → 再度電源を入れた後、約30秒後に洗浄の途中で電源が切れた抽出器番号が表示されます。表示された番号の抽出器に改めて酸素系漂白剤をセットして洗浄をやり直してください。

2連目の途中で電源が切れた場合

- タイマー機能で「センジョウ1～3」を設定しており、洗浄を促すメッセージの表示から1時間以上たってから、エスプレッソ抽出器の同時洗浄実施中に電源が切れた場合。
  → 再度電源を入れた後、約30秒後にすべての抽出器番号が順次表示されます。すべての抽出器に改めて酸素系漂白剤をセットして洗浄をやり直してください。

GR1→GR2→GR3と、順に表示されます。

- タイマー機能で「センジョウ1～3」を設定しており、洗浄を促すメッセージの表示から1時間以上たってから、1連ごとのエスプレッソ抽出器の洗浄実施中に電源が切れた場合。
  → 再度電源を入れた後、約30秒後に洗浄の途中で電源が切れた抽出器以降の番号が表示されます。表示された番号の抽出器に改めて酸素系漂白剤をセットして洗浄をやり直してください。



GR2（2連目）の洗浄中に電源が切れた場合、GR2→GR3と、順に表示されます。

- 洗浄を促すメッセージが表示されていない時に、自動洗浄を実施し、洗浄途中で電源が切れた場合。
  → 再度電源を入れても、洗浄メッセージは表示されません。初めから洗浄をやり直してください。

エスプレッソ抽出器の自動洗浄時刻を設定している場合

- エスプレッソ抽出器は、24時間に1回（毎日）洗浄をおこなう必要があります。
  洗浄を怠りますと、機械の故障や抽出されるコーヒーの品質や量が一定しない原因になります。
  また、機械内部に残ったコーヒーが腐敗し、雑菌が繁殖して、健康障害の原因になることがあります。

- タイマー機能で「センジョウ1～3」を設定している場合、洗浄時刻になるとディスプレイに右のような表示があらわれ、「ピッピッ」というアラーム音が鳴ります。（設定時刻が22：00の場合）
  終業時には必ず、エスプレッソ抽出器の洗浄をおこなってください。
  この表示は、エスプレッソ抽出器の自動洗浄をおこなうまで1時間続きますので、1時間以内に洗浄をおこなってください。

- 1時間以内に洗浄をおこなわないと、ディスプレイには右のような表示があらわれます。このとき、各メニューの抽出ができなくなりますのでご注意ください。

GR1、GR2、GR3……に切りかわります。

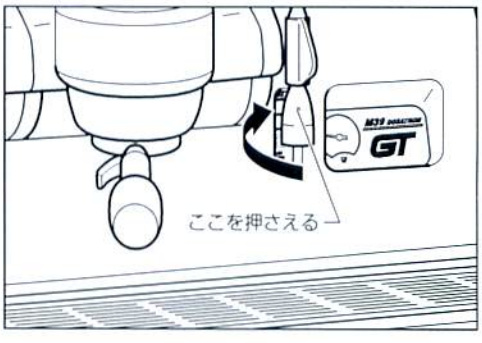
- 抽出動作が停止されている場合、「コーヒーライン自動洗浄スイッチ」を2秒間長押ししてエスプレッソ抽出器の洗浄をおこなってください。自動洗浄が完了したエスプレッソ抽出器は、抽出ができるようになります。
- 設定時刻が来る前に自動洗浄をおこなっても、設定時刻が来るとこの表示が出ます。この表示を解除するには、酸素系漂白剤を使用しないで「コーヒーライン自動洗浄スイッチ」を押し、湯のみの洗浄をおこなってください。
- 1連ごとの洗浄を選択した場合は、自動洗浄中以外のエスプレッソ抽出器からは各メニューの抽出が可能です。また、熱湯および蒸気を出すこともできます。

熱湯ノズルの洗浄

1 熱湯ノズルの先端部分を取り外します。

❶ 熱湯ノズルの上の部分をしっかりと押さえ、熱湯ノズルの先端部分を時計方向に回して外してください。

⚠ 使用後は熱湯ノズルが熱くなっている場合があります。熱くなっている場合は、水で濡らした布を使用して取り外してください。

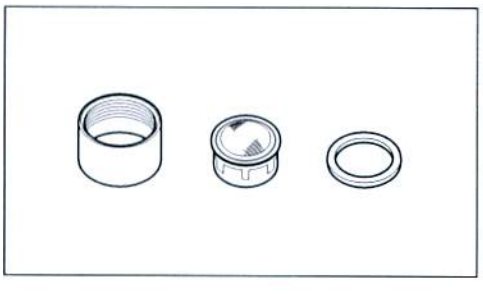


2 各部品を洗浄します。

❶ 先端部分の部品を分解して、水またはお湯でていねいに洗ってください。

❷ 乾いた布で水分を拭き取ってください。

❸ 各部品を組み立て、元通りに取り付けてください。



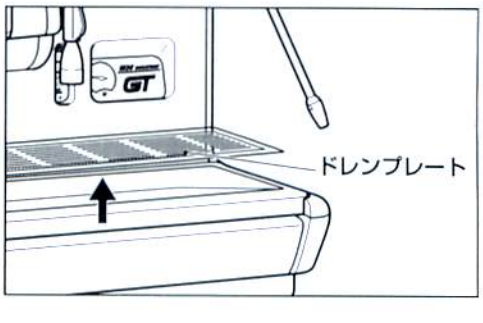
ドレンプレート、ドレンパンの洗浄

1 ドレンプレートを本体から取り外して洗浄します。

❶ ドレンプレートを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でていねいに洗ってください。

❷ その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

❸ 乾いた布で水分を拭き取ってください。



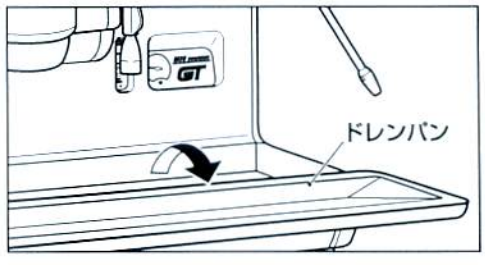
2 ドレンパンを洗浄します。

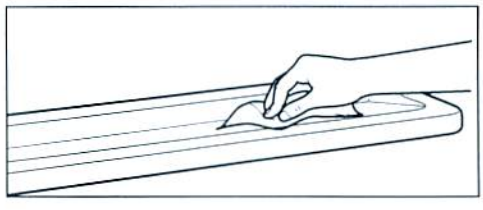
❶ドレンパンを持ち上げるようにして本体から取り外してください。

❷ドレンパンを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でていねいに洗ってください。

❸その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

❹乾いた布で水分を拭き取ってください。



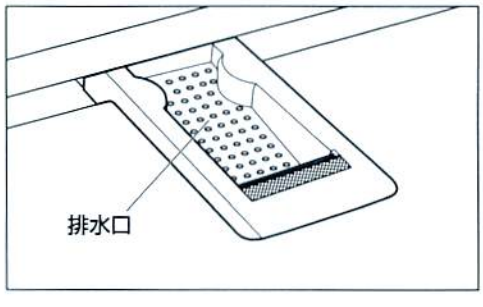


3 排水口を清掃します。

❶ドレンパンを取り外すと排水口があります。排水口を清掃してください。

❷水またはお湯を流して、排水口がつまっていないか確認してください。

❸ドレンパンとドレンプレートを本体に元どおりに取り付けてください。



週に2〜3回おこなってください

ここでは、週に2〜3回、また、汚れが目立ったときにおこなう清掃について説明します。

蒸気ノズル先端の洗浄

●蒸気ノズル（右、左）を清潔にお使いいただくためノズルを分解洗浄してください。

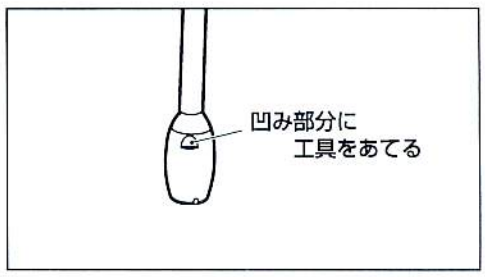
1 洗浄剤（テルキッチン）の希釈液を作ります。

●500mLのぬるま湯を用意してテルキッチンを5g入れ、よくまぜ合わせてください。

終業時に毎日おこなってください／週に2～3回おこなってください

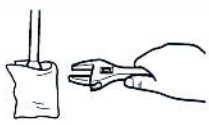
2 蒸気ノズルの先端を洗浄します。

❶蒸気ノズルの先端部分を外します。
手で外せないほど硬い場合は、工具を使って外します。

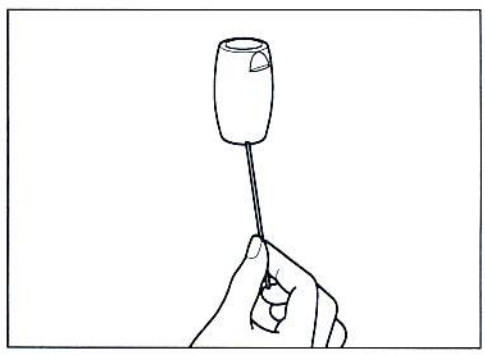


注意！

工具を使って、外す場合は、ノズルに傷が付かないようにノズルに布などを巻いてから取り外し作業をおこなってください。



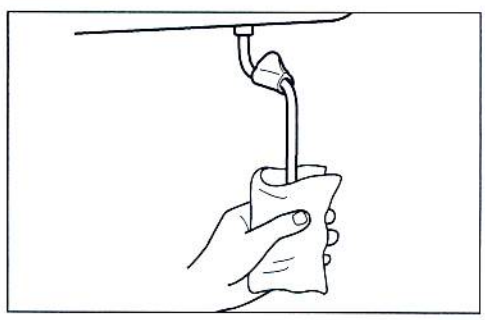
❷ノズルの先端部分を洗浄剤の希釈液に10分程度漬けます。



❸先端部分の穴が詰まっている場合は、細い金属の棒などで詰まりを取ってください。

❹洗浄後は、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

❺ノズルは、お湯を使って汚れを拭き取ってください。



注意！

洗浄剤の希釈液に蒸気ノズルを差し込んで蒸気を出す洗浄はおこなわないでください。洗浄剤が機械内部に入る恐れがあり、健康障害の原因になります。

❻清潔な布で水分をふきとってください。

❼分解と逆の手順で組み立ててください。

本体外装の清掃

1 本体外装の清掃をします。

本体の外装は、中性洗剤を含ませた柔らかい布でていねいに拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。

⚠ **本体に直接水を掛けて洗わないでください。**
漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。